

# 令和7年度

## 農業機械・農作業安全研修計画

(都道府県、市町村、農業団体職員、農業者)

農林水産省  
農林水産研修所つくば館

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-1  
TEL 029-839-9481 FAX 029-836-7381  
<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/>

検索

# 目 次

## 目次

受講申請について	1
受講申請書	2
受講案内	3
つくば館水戸ほ場	4
令和7年度農業機械・農作業安全研修計画	5
令和7年度年間スケジュール	6

(研修日程表)

## 都道府県職員等コース

### 新技術農業機械化推進研修

(オンライン) 精密農業・自動化コースⅠ (ドローン・アシストスーツ)	7
(オンライン) 精密農業・自動化コースⅡ	8
精密農業・自動化コースⅢ	9
加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース	10

### 農作業安全推進研修

安全指導者スキルアップ研修 総合コース	11
安全指導者スキルアップ研修 短期コース	12
安全指導者スキルアップ研修 特定農機コースⅠ	13
安全指導者スキルアップ研修 特定農機コースⅡ	14
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅰ	15
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅱ	16
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅲ	17
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅳ	18
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅴ	19
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅵ	20
(オンライン) 農作業安全に関する指導者育成研修Ⅶ	21
(オンライン) 安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コースⅠ	22
(オンライン) 安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コースⅡ	23

### 農作業安全研修

農業機械整備技術・初級コースⅠ	24
農業機械整備技術・初級コースⅡ	25
農業機械整備技術・初級コースⅢ	26
農業機械整備技術・初級コースⅣ	27
農業機械整備技術・中級コースⅠ	28
農業機械整備技術・中級コースⅡ	29
水田機械技術向上コース	30
農業機械基礎技術コースⅠ (畑作機械)	31
農業機械基礎技術コースⅡ (乗用型トラクター1)	32
農業機械基礎技術コースⅢ (小型耕うん作業機)	33
農業機械基礎技術コースⅣ (総合)	34
農業機械基礎技術コースⅤ (乗用型トラクター2)	35

熱中症対策研修		
（オンライン）熱中症及び作業環境対策コースⅠ	.....	36
（オンライン）熱中症及び作業環境対策コースⅡ	.....	37

## 一般コース

### 新技術農業機械化推進研修

（オンライン）精密農業・自動化コースⅠ（ドローン・アシストスーツ）	.....	7
（オンライン）精密農業・自動化コースⅡ	.....	8
精密農業・自動化コースⅢ	.....	9
加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース	.....	10

### 農作業安全推進研修

安全指導者スキルアップ研修 総合コース	.....	11
安全指導者スキルアップ研修 短期コース	.....	12
安全指導者スキルアップ研修 特定農機コースⅠ	.....	13
安全指導者スキルアップ研修 特定農機コースⅡ	.....	14
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅰ	.....	15
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅱ	.....	16
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅲ	.....	17
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅳ	.....	18
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅴ	.....	19
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅵ	.....	20
（オンライン）農作業安全に関する指導者育成研修Ⅶ	.....	21
（オンライン）安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コースⅠ	.....	22
（オンライン）安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コースⅡ	.....	23

### 農作業安全研修

農業機械整備技術・初級コースⅢ	.....	26
農業機械整備技術・初級コースⅣ	.....	27
農業機械整備技術・中級コースⅠ	.....	28
農業機械整備技術・中級コースⅡ	.....	29
水田機械技術向上コース	.....	30
農業機械基礎技術コースⅠ（畑作機械）	.....	31
農業機械基礎技術コースⅡ（乗用型トラクター1）	.....	32
農業機械基礎技術コースⅢ（小型耕うん作業機）	.....	33
農業機械基礎技術コースⅣ（総合）	.....	34
農業機械基礎技術コースⅤ（乗用型トラクター2）	.....	35
農業機械安全運転コースⅠ	.....	38
農業機械安全運転コースⅡ	.....	39
農業機械安全運転コースⅢ	.....	40
農業機械安全運転コースⅣ	.....	41
乗用型トラクター耕うん技術基礎コースⅠ	.....	42
乗用型トラクター耕うん技術基礎コースⅡ	.....	43
乗用型トラクター耕うん技術基礎コースⅢ	.....	44
乗用型トラクター耕うん技術基礎コースⅣ	.....	45

乗用型トラクター耕うん技術基礎コースⅤ	46
乗用型トラクター耕うん技術総合コースⅠ	47
乗用型トラクター耕うん技術総合コースⅡ	48
女性農業者支援農業機械基本操作コースⅠ	49
女性農業者支援農業機械基本操作コースⅡ	50
女性農業者支援農業機械基本操作コースⅢ	51
農業機械基本操作コースⅠ	52
農業機械基本操作コースⅡ	53
農業機械基本操作コースⅢ	54
農業機械基本操作コースⅣ	55
農業機械実践技術コースⅠ	56
農業機械実践技術コースⅡ	57
熱中症対策研修	
（オンライン）熱中症及び作業環境対策コースⅠ	36
（オンライン）熱中症及び作業環境対策コースⅡ	37

# 受講申請について

1 (1) 研修の申込みは、受講申請書（以下「申請書」）の提出をもって行ないます。申込みの開始日は決まっていませんので随時お申し込み下さい。なお、農作業安全に関する指導者育成研修Ⅰ～Ⅶ（オンライン）については、つくば館では受付しませんので、各都道府県にお申し込み下さい。

(2) 「申請書」の研修申請者は受講者の勤務先の所属長又は上司等とし、団体に属していない場合は研修申請者は受講者本人とします。郵送又は電子メールにより申請書を送付してください。送付先は下記のとおりです。申し込み期限は、オンライン研修の場合は研修日の概ね1週間前、水戸ほ場での研修の場合は原則として研修開始日の概ね2週間前までとなります。ただし、農業機械安全運転コースについては申し込み期限は研修開始日の1か月程度前に設定していますので、ご注意ください。

（郵送）

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-1  
農林水産研修所つくば館 技術研修第2係あて

（電子メール）

提出先メールアドレス：kikaianzenkensyu@maff.go.jp

(3) 申し込み期限前であっても、定員を満した場合には受付を終了する場合があります（ホームページに掲載します）。

2 (1) 受講者を決定後、受講決定に係る通知を研修申請者に郵送又は電子メールにて送付します。但し、最少実施人数に満たない場合は、研修を中止することがあります。最少実施人数は研修日程表の欄外下部に記載しています。中止となった場合は速やかに受講申請者又は受講者にその旨を連絡いたします。

(2) 水戸ほ場で行う研修は農業機械等の安全な操作方法等を習得いただく体験型の研修となっております。安全に研修を受講いただくよう、研修中は職員の指示に従ってください。

万が一職員の指示に従わず事故等による施設、備品の毀損等又は研修生に傷害が生じた場合は研修生又は派遣した団体等の責任において対応いただきますので、あらかじめご了承ください（受講に際し各自で傷害保険等に加入することをお勧めします）。

# 受講申請書

令和 年 月 日

農林水産省農林水産研修所長 殿

研修申請者  
所属機関名 \_\_\_\_\_

職名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

農林水産研修所つくば館において実施する下記の農業機械・農作業安全研修を受講  
したいので、申請します。

## 記

1 研修の名称 \_\_\_\_\_

2 研修の期間 令和 年 月 日～ 年 月 日

3 受講者

(ふりがな) 氏名	年齢	性別	所属機関名	住所	電話番号	メールアドレス	参加・来場方法
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							

提出先： 農林水産研修所つくば館 技術研修課技術研修第2係あて  
[kikaianzenkensyu@maff.go.jp](mailto:kikaianzenkensyu@maff.go.jp)  
( 郵送の場合 〒305-0853 つくば市榎戸748-1 )

お問合せ：電話 029-839-9481 (農林水産研修所つくば館 技術研修課技術研修第2係)

# 受講案内

## 1 受付

受付は研修日程表に記載した場所にて行います（オンライン研修を除く）。開講式の5分前までに受付を終了して下さい。

## 2 交通

公共交通機関をご利用

JR常磐線友部駅が最寄り駅です（特急ときわが停車しますが、ひたちは停車しません）。

友部駅南口より路線バスは以下の3系統です。

- 水戸駅北口行き（旭台団地経由）に乗車（約20分）して、研修所舎宅前下車後徒歩約2分
- 鯉淵学園行き（柿橋経由）に乗車（約10分）して、鯉淵学園下車後徒歩約5分です。

（注）終点は鯉淵学園学生ホールです。終点一つ前の鯉淵学園で下車して下さい。

- 水戸駅北口行き（中央病院経由）に乗車（約15分）して、中台上下車後徒歩約8分

（注）行きは午前中に1本、帰りは研修受講後に乗車できるバスはありません。

自動車をご利用

常磐自動車道の友部SA（ETC専用IC）より約6分です。

## 3 宿泊

各自でビジネスホテル等をご利用ください。

## 4 経費

無料です（一部の研修については事前にテキストを購入していただきます（研修日程表に明記））。

## 5 お問い合わせ先

### (1) 受講申込（申請書）等に関すること

農林水産省 農林水産研修所 つくば館 技術研修第2係

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-1

TEL 029-839-9481 FAX 029-836-7381

### (2) 研修（実習）内容等に関すること

農林水産省 農林水産研修所 つくば館 水戸ほ場 研修調整官

〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町5930-1

TEL 029-259-2321 FAX 029-259-2589

## ■つくば館水戸ほ場

### 所在地

〒319-0323

茨城県水戸市鯉淵町5930-1

TEL : 029-259-2321

FAX : 029-259-2589

<http://www.maff.go.jp/i/kanbo/tukuba/mito/>

### 交通

JR常磐線「友部」駅を下車したのち、

(特急：ときわは停車しますが、ひたちは停車しません)

①路線バス利用の場合：南口のりば（茨城交通、本数が大変少ないのでご注意ください）

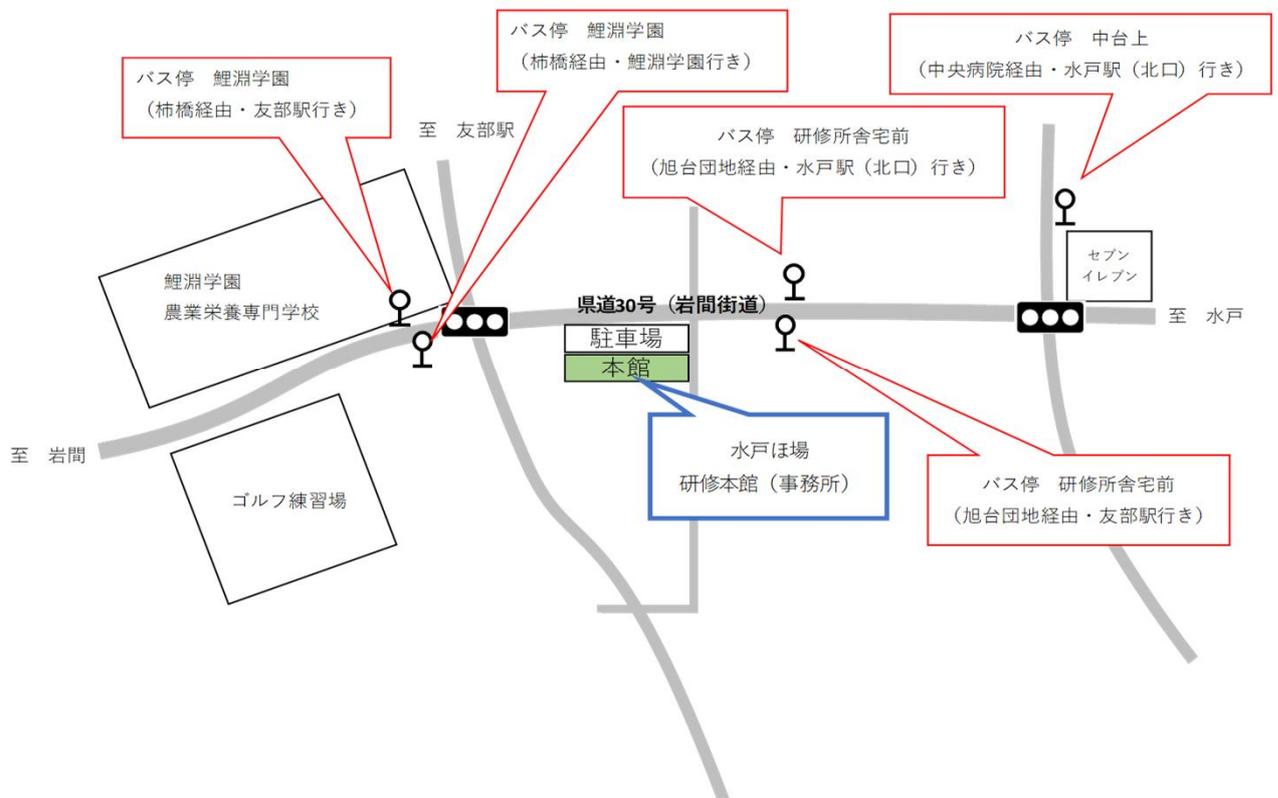
- ・水戸駅北口行き（旭台団地経由）で約20分「研修所舎宅前」下車、徒歩約2分
- ・鯉淵学園行き（柿橋経由）で約10分「鯉淵学園」下車、徒歩約5分
- ・水戸駅北口行き（中央病院経由）で約15分「中台上」下車、徒歩約8分

(注意)「茨城交通 時刻表 友部駅」で検索すると時刻表を確認できます。

②タクシー利用の場合：駅から約10分

※ 県道30号の十字路（本館近く）は信号がないのでご注意下さい。

駐車場は事務所前にあります。



令和7年度 農業機械・農作業安全研修計画

研修区分	研修名	研修の内容	対象者	研修 日数	研修予 定人員	研修期間	申込期限		
新技術農業機械化推進研修									
農水省職員	一般コース	精密農業・自動化コース	農林水産省、都道府県、市町村、農業団体の職員、農業者（地域リーダー）等	I (Iはオンライン研修) 農業へのドローン利用の現状と課題、ドローン（マルチローター）を利用した病害虫防除、農作業アシストスーツの説明及び装着を予定	1日	30人	9月5日	8月28日	
				II (IIはオンライン研修、IIIは対面研修) スマート農業の推進、事例研究、農業車両の自動操舵システムの利用普及と技術動向、最新自動操舵システムを利用した農作業と基本操作を予定	1日	30人	1月30日	1月22日	
				III 加工・業務用野菜をめぐる現状、加工業務用野菜の取組、加工用向け専用収穫機の実習、キャベツ収穫機の実習等を予定	1日	10人	3月6日	2月19日	
				IV 加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース	2日	10人	12月4日～5日	11月20日	
農作業安全研修									
農水省職員	一般コース	農業機械整備技術・初級コース	農業者（地域リーダー）等、都道府県、市町村、農業団体の職員	I トラクター、田植機、コンバイン等の主要農業機械の構造・機能と整備技術実習	3日	8人	5月12日～14日	4月24日	
				II	3日	8人	5月14日～16日	4月30日	
				III 整備作業の基礎、乗用型トラクター、ロータリの点検整備	2日	4人	12月11日～12日	11月27日	
				IV	2日	4人	3月12日～13日	2月26日	
		農業機械整備技術・中級コース	I テスターの使い方等、トラクター、刈払機の安全操作に欠かせない整備要点等（実習）	3日	4人	11月26日～28日	11月12日		
				II	3日	4人	2月4日～6日	1月21日	
		農業機械安全運転コース	II 乗用型トラクターの基本及び実践的な安全運転実習、乗用型トラクターの事故と対策（講義）等	農業者（地域リーダー）等	I	7日	20人	5月20日～28日	4月16日
					II	7日	20人	9月22日～10月1日	8月4日
					III	7日	20人	10月27日～11月5日	9月16日
					IV	7日	20人	1月13日～21日	12月1日
		乗用型トラクター 耕うん技術基礎コース	I トラクターの構造と機能、仕業点検、基本的な安全運転及び耕うん実習等	農業者（地域リーダー）等	II	2日	6人	4月15日～16日	4月8日
					III	2日	6人	7月15日～16日	7月1日
					IV	2日	6人	10月14日～15日	9月30日
					V	2日	6人	12月9日～10日	11月25日
		乗用型トラクター 耕うん技術総合コース	I 農作業安全講義・演習、乗用型トラクター等の基本的な安全運転実習、傾斜路危険体験等	農業者（地域リーダー）等	II	2日	6人	1月28日～29日	1月14日
					III	3日	8人	6月2日～4日	5月19日
		女性農業者支援 農業機械基本操作コース	I 刈払機のメンテナンス、安全操作等	女性農業者	II	3日	8人	6月9日～11日	5月26日
					III	1日	6人	7月25日	7月11日
					IV	1日	6人	10月17日	10月3日
					V	1日	6人	11月18日	11月4日
農業機械基本操作コース	I 刈払機、トラクターの基本運転等	海外研修生	II	1日	55人	4月18日	4月11日		
			III	2日	30人	8月21日～22日	8月7日		
			IV	2日	25人	8月22日、25日	8月8日		
			V	1日	8人	2月17日	2月3日		
農業機械実践技術コース	I 乗用型トラクターの仕業点検、傾斜面・路、コンバイン、チェンソー等の小型作業機械の安全確保等	農業者（地域リーダー）等	II	3日	8人	10月22日～24日	10月8日		
			III	3日	8人	12月16日～18日	12月2日		
水田機械技術向上コース	I 水稲の収穫作業、耕うん、ロータリの点検整備等	農業者（地域リーダー）等	II	2日	4人	10月8日～9日	9月24日		
			III	1日	6人	6月18日	6月4日		
農業機械基礎技術コース	I 農作業安全、歩行型トラクター作業等	都道府県、市町村、農業団体の職員	II	1日	6人	8月28日	8月14日		
			III	1日	6人	9月2日	8月19日		
			IV	2日	6人	2月24日～25日	2月9日		
			V	1日	6人	3月4日	2月18日		
			VI	1日	6人	3月4日	2月18日		
要請コース（注1）	乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験と安全走行、畦越え、刈払機の安全操作等の実習	農業者（地域リーダー）等			通年	-			
農作業安全推進研修									
農水省職員	一般コース	農作業安全に関する指導者育成研修（注2）	都道府県、市町村、農業団体の職員、農業機械メーカー・販売店、農業機械士等（注2）	I (オンライン研修)	1日	200人	5月26日	5月7日	
				II 農作業安全推進の背景・目的と概要、労働安全の基本、農作業事故の要因と対策、農作業事故を防ぐには、など	1日	200人	6月27日	6月6日	
				III	1日	200人	7月25日	7月4日	
				IV	1日	200人	8月25日	8月4日	
				V	1日	200人	10月20日	9月29日	
				VI	1日	200人	11月17日	10月27日	
				VII	1日	200人	12月4日	11月13日	
		安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コース	I (オンライン研修) 参加者同士が意見交換する形式である対話型研修に関する実習、実施手法の解説 など	農業者（地域リーダー）等	II	1日	20人	6月20日	6月6日
					III	1日	20人	12月12日	11月28日
					IV	4日	8人	11月11日～14日 （2日間の受講可）	10月28日
安全指導者スキルアップ研修 総合コース	I 農作業安全対策、リスクアセスメントの導入と効果、農作業安全研究の講義、乗用型トラクターの傾斜面、各種作業機の安全確保（畦越え等、歩トラ、刈払機、チェンソー）の実習	農業者（地域リーダー）等	II	2日	6人	6月26日～27日	6月12日		
			III	1日	10人	9月18日	9月4日		
安全指導者スキルアップ研修 短期コース	I 傾斜面の危険体験、コンバインの点検、安全操作	農業者（地域リーダー）等	II	1日	6人	12月2日	11月18日		
			III	1日	6人	12月2日	11月18日		
熱中症対策研修									
農水省職員	一般コース	熱中症及び作業環境対策コース	農林水産省、都道府県、市町村、農業団体の職員、その他	I (オンライン研修)	1日	100人	5月30日	5月22日	
				II 深部体温に着目した熱中症対策、今年の夏の天候見通し等	1日	100人	6月24日	6月16日	

（注1）要請コースは、本計画以外で年度内に申込みのあったコースである。

（注2）農作業安全に関する指導者育成研修I～VIIについては、受講対象者のうち都道府県の推薦を受けた者に限る。



# 令和7年度 新技術農業機械化推進研修（オンライン研修）

## 精密農業・自動化コースⅠ（ドローン・アシストスーツ）

令和7年9月5日（金）

（定員：30名）

（研修のねらい）

農村の高齢化、農家人口の減少等の課題に対する技術として、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術が注目されている。本コースでは、ドローンの農業分野への利用とアシストスーツについての理解を深めることを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
9 / 5 (金)	午前	10:50～ 開講式・オリエンテーション  11:00～12:00 （仮）農業へのドローン利用の現状と課題 （講師：農研機構 農業環境研究部門（予定））	（仮）リモートセンシング技術を利用した農業の可能性について
	午後	13:15～14:45 （仮）ドローン（マルチローター）を利用した病虫害防除について （講師：未定）  15:00～16:15 （仮）農作業アシストスーツの説明及び装着について （講師：未定）  16:15～ 閉講式	（仮）無人航空機による空中散布における制度の現状と今後の動向、法規制関係、ドローン活用事例（茨城県） 飛行実演（動画）  （仮）農業現場における中腰作業や重量物運搬作業等において、腰部への負担を軽減するアシストスーツ 実演（動画）

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

3：最少実施人数：3名

# 令和7年度 新技術農業機械化推進研修（オンライン研修）

## 精密農業・自動化コースⅡ

令和8年1月30日（金）

（定員：30名）

（研修のねらい）

農村の高齢化、農家人口の減少等の課題に対する技術として、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術が注目されています。これらの技術の現状と今後の普及のための課題等に対する理解を深めることを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
1 / 30 (金)	午前	9:35～ 開講式  9:45～10:45 (仮) スマート農業の推進について (講師：農林水産省（予定）)  11:00～12:00 (仮) スマート農業新技術活用事例 (講師：未定)	(仮) スマート農業をめぐる最近の動き等   (仮) スマート農業に取り組んでいる事例の紹介等
	午後	13:15～14:15 (仮) 農業車両の自動操舵システムの利用普及と技術動向 (講師：未定)  14:20～15:20 (仮) 最新自動操舵システムを利用した農作業と基本操作 (講師：未定)  15:20～ 閉講式	(仮) 近年普及が広がってきている自動操舵システムの技術要素を、GNSS 技術を中心に詳しく解説し最新の利用普及状況などについて紹介  (仮) 最新の自動操舵システムを搭載したトラクターの作業及び基本操作について動画による説明。また、基地局設備の設置等についての説明

- （注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。  
 2：事前に接続テストを実施します。  
 3：最少実施人数：3名

# 令和7年度 新技術農業機械化推進研修

## 精密農業・自動化コースⅢ

令和8年3月6日（金）

（定員：10名）

（研修のねらい）

農村の高齢化、農家人口の減少等の課題に対する技術として、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術が注目されています。これらの技術の現状と今後の普及のための課題等に対する理解を深めることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
3 / 6 (金)	午前	9:45～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		10:00～11:00 (仮) スマート農業の推進について(講義) (講師：農林水産省(予定))	(仮) スマート農業をめぐる最近の動き等	〃
		11:00～12:00 (仮) スマート農業新技術活用事例 (講師：未定)	(仮) スマート農業に取り組んでいる事例の紹介等	〃
	午後	13:00～14:00 (仮) 農業車両の自動操舵システムの利用普及と技術動向(講義) (講師：未定)	(仮) 近年普及が広がってきている自動操舵システムの技術要素を、GNSS技術を中心に詳しく解説し最新の利用普及状況などについて紹介	第3研修室
	14:00～15:30 (仮) 最新自動操舵システムを利用した農作業と基本操作(実演) (講師：未定)	(仮) 最新の自動操舵システムを搭載したトラクターの作業及び基本操作について説明。また、基地局設備の設置等について説明	実習ほ場	
	15:45～ 閉講式			第3研修室

注：1 日程の一部を変更することがあります。

2 最少実施人数：3名

令和7年度 新技術農業機械化推進研修

加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース

令和7年12月4日（木）～12月5日（金）

（定員：10名）

（研修のねらい）

外食産業等で近年需要の増大している加工・業務用野菜の機械導入による低コスト化を目指す最新の技術や動向等を通じて、機械導入による低コスト化生産技術の普及促進を図ることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主な内容	場 所
12/4 (木)	午前	10:45～ 開講式・オリエンテーション  11:00～12:00 (仮)加工・業務用野菜をめぐる 現状 (講師：農林水産省（予定）)	(仮)加工・業務用野菜の現状、 課題と今後の対応、講じようとして いる施策等	水戸ほ場 第3研修 室  〃
	午後	13:00～14:00 (仮)加工・業務用野菜の取組に ついて (講師：未定)  14:00～15:00 (仮)ホウレンソウなど軟弱野菜 の加工向け専用収穫機の開発と普 及への取り組み (講師：未定)  15:00～16:00 (仮)加工向け専用収穫機の実演・ 実習 たまねぎ調整一貫体系の実習 ・実演 (講師：同上)	(仮)国産野菜の需給・消費拡大 のためのサプライチェーン・バリュ ーチェーン構築を目指した取り組 み等  (仮)軟弱野菜の栽培規模拡大の ネックとなっている収穫作業の時 間・労力の低減を図る加工向け出荷 専用収穫機の開発と普及への取り 組み  (仮)加工向け専用収穫機の効率 的な使用法、たまねぎの根葉切り、 仕上げ、繰り上げ、選別による省力 化	第3研修 室  〃  水田ほ場
12/5 (金)	午前	9:00～10:00 (仮)キャベツ機械化一貫体系と 収穫機導入産地の取り組み事例 (講師：未定)	(仮)キャベツ収穫機を核とした 播種・定植から収穫までの機械化一 貫体系事例及び収穫機導入産地の 取り組み事例	水戸ほ場 第3研修 室
		10:00～12:00 (仮)新型キャベツ収穫機の実演 ・実習 (講師：同上)	(仮)収穫機の効率的な使用法	水田ほ場
		12:00～ 閉講式		第3研修 室

- 注： 1 日程の一部を変更することがあります。  
2 作業着を持参して下さい。  
3 最少実施人数：3名

# 令和7年度 農作業安全推進研修 安全指導者スキルアップ研修 総合コース

(令和7年11月11日(火)～ 11月14日(金))  
(本コースは2日間(前半又は後半の2日間)のみの受講も可能です)

(定員：8名)

(研修のねらい)

本研修は、農作業安全対策を推進する地域の指導者が農業者研修教育施設における研修や安全講習会等の場において総合的な講義と実習を行うための知識、技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
11/11 (火)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～14:00 農作業安全対策について (講師：農林水産省農産局)	農作業事故の実態と安全対策 (農林水産省での取り組み、現場活用での お願い)	〃
		14:00～16:00 リスクアセスメントの導入と効果 (講師：(一社)日本労働安全衛生コンサル タント会 顧問(元専務理事)後藤博俊)	農業以外の他産業で実施されているリス クアセスメント手法についての事例と効果 など	〃
11/12 (水)	午前	9:00～10:00 トラクターの基本的な安全運転実習	安全な発進、駐車、方向転換の操作手順	運転コース
		10:00～12:00 乗用型トラクターの傾斜面危険体験験 (講師：技術研修指導官等)	10度の斜面をサイズ・速度の異なるト ラクターで走行した場合の危険性比較と安全 確保の方法、15度(安全装置付)の斜 面での横転擬似体験、急坂(15度・20 度)を昇降する時の危険性比較	傾斜面
	午後	13:00～14:30 刈払機の操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法及び安全 確保等	練習ほ場
		14:30～16:00 チェンソーの操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法(伐採・ 目立て等)	〃
		16:00～閉講式(注4)		第3研修室 (注4)
11/13 (木)	午前	8:50～ 開講式・オリエンテーション(注4)		第3研修室 (注4)
		9:15～10:30 作業機の着脱 (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱 方法	運転コース
		10:30～12:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法(耕うん 作業、トレーラ走行)	練習ほ場
	午後	13:00～16:00 乗用型トラクター走行の安全確保 (乗用型トラクターでの畦越え、不整地 走行、傾斜地走行)	トラクターと作業機との mismatch による 畦越え時の転倒危険性体験と安全確保の 方法、不整地走行でのハンドル操作の困難 性、ほ場の傾斜地での横方向への急傾斜体 験	練習ほ場
		高齢者体験 (講師：技術研修指導官等)	高齢者体験セット(ゴーグル、おもり、 ベルト等により80歳程度の運動能力)を 装着した状態によるトラクターの操作	〃
11/14 (金)	午前	9:00～12:00 農作業安全研究の最前線 (講師：農研機構 農業機械研究部門 システム安全工学研究領域 予防安全シ ステムグループ グループ長 積 栄)	農研機構農業機械研究部門の取組み方針 (乗用型トラクター・歩行型トラクター・ コンバイン・刈払機・意見交換)	第3研修室
		12:00～ 閉講式		〃

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：3名

4 該当者がいる場合。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 安全指導者スキルアップ研修 短期コース

令和7年6月26日(木)～6月27日(金)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、農作業安全対策を推進する地域の指導者が農業者研修教育施設における研修や安全講習会等の場において必要な知識、技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
6 26 (木)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～12:00 トラクターの基本的な安全運転 実習  10:00～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜 路危険体験 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向転換の操作 手順  10度の斜面をサイズ・速度の異なる トラクターで走行した場合の危険 性比較と安全確保の方法、15度(安全 装置付)の斜面での横転疑似体験、 急坂(15度・20度)を昇降する時 の危険性比較	水戸ほ場 第3研修 室  運転コー ス  傾斜面・ 路
	午後	13:00～14:30 歩行型トラクターの操作と安全 確保  (講師：技術研修指導官等)  14:30～16:00 作業機の着脱 (講師：技術研修指導官等)	事件事例紹介、安全な操作方法(耕 うん作業、トレーラ走行)  安全で効率的なロータリ作業機等 の着脱方法	練習ほ場  運転コース
6 27 (金)	午前	9:15～12:00 トラクター作業機の安全確保 (プラウ耕起及び碎土・整地作業及 びロータリ耕うん) (講師：技術研修指導官等)  12:00～ 閉講式	プラウによる耕起及び碎土・整地 (パワーハロー等)作業、ロータリ耕 法	水戸ほ場 練習ほ場  第3研修 室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

## 令和7年度 農作業安全推進研修

### 安全指導者スキルアップ研修 特定農機コース I

令和7年9月18日（木）

（定員：10名）

（研修のねらい）

本研修は、季節作業に応じた農業機械の実習を通じて、安全なほ場作業を行うために必要な知識、技術を習得することにより地域における安全指導者の育成を図ることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
9 / 18  (木)	午前	9:30～ 開講式・オリエンテーション  9:50～11:00 トラクターの基本的な安全運転 実習 11:00～12:00 乗用型トラクターの傾斜面危険 体験  (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向変換の操作 手順  10度、15度（安全装置付）の斜面 でサイズ・速度の危険性比較、横転疑 似体験	水戸ほ場 第3研修 室  運転コー ス  傾斜面
	午後	13:00～15:30 コンバインの操作と安全確保 (収穫作業)  (講師：技術研修指導官等)  15:45～ 閉講式	事件事例紹介、安全な操作方法（畦 越え、積み込み時の危険体験及び収穫 作業時の安全確認）	水田ほ場   第3研修 室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

## 令和7年度 農作業安全推進研修

### 安全指導者スキルアップ研修 特定農機コースⅡ

令和7年12月2日(火)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、季節作業に応じた農業機械の実習を通じて、安全なほ場作業を行うために必要な知識、技術を習得することにより地域における安全指導者の育成を図ることを目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
12/2 (火)	午前	9:30～ 開講式・オリエンテーション  9:45～12:00 エンジン及びトラクタの構造・ 機能と整備実習 (講師：技術研修指導官等)	小型ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、トラクタの構造・機能説明及び日常的な点検整備	水戸ほ場 第3研修室  機械教室
	午後	13:00～15:30 刈払機の安全操作に欠かせない 整備要点 (講師：技術研修指導官等)  15:30～ 閉講式	刈払機の概要、刈刃、防護カバー、ギヤー室等の整備実習	機械教室  第3研修室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）Ⅰ

令和7年5月26日（月）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
5 / 26 (月)	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス (講師：農林水産省農産局技術普及課)  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） (講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生)  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） (一社)日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正)	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）Ⅱ

令和7年6月27日（金）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
6 / 27 (金)	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス (講師：農林水産省農産局技術普及課)  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） (講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生)  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） (一社)日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正)	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）Ⅲ

令和7年7月25日（金）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
7 / 25 (金)	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス (講師：農林水産省農産局技術普及課)  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） (講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生)  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） (一社)日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正)	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）Ⅳ

令和7年8月25日（月）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
8 / 25 (月)	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス (講師：農林水産省農産局技術普及課)  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） (講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生)  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） (一社)日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正)	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）Ⅴ

令和7年10月20日（月）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
10 / 20 （月）	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス （講師：農林水産省農産局技術普及課）  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 （講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克）  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） （講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生）  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） （一社）日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 （講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子）  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 （講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克）  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには （講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子）  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）VI

令和7年11月17日（月）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
11 / 17 (月)	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス (講師：農林水産省農産局技術普及課)  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） (講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生)  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） (一社)日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正)	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全推進研修

## 農作業安全に関する指導者育成研修（オンラインコース）Ⅶ

令和7年12月4日（木）

（定員：200名）

（研修のねらい）

本研修は、農業者に対する農作業安全に関する研修の講師（クロスコンプライアンス、付加研修、関係機関主催の研修等）、広報資料の作成・イベント開催、見廻り活動、日常業務に付加した意識啓発活動、事故情報の収集・報告等を担う、地域における農作業安全の推進役を育成することを目的とする。

月 日	区分	研修項目等	主 な 内 容
12/4 (木)	午前	9:20～ 9:30 開講式・オリエンテーション  9:30～9:40 ガイダンス (講師：農林水産省農産局技術普及課)  9:40～10:10 1. 農業安全推進の背景・目的と概要 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  10:20～11:20 2. 労働安全の基本（その1） (講師：労働安全コンサルタント 鈴木信生)  11:30～12:00 3. 労働安全の基本（その2） (一社)日本農業機械化協会 技術顧問 氣多 正)	本研修の趣旨、受講者の役割等の説明  農作業事故が引き起こすもの及び農作業事故の現状と課題  労働安全関係法令と安全活動、農作業安全に関する規範・指針・制度と農機の公道走行に関する法令  〃
	午後	13:15～14:15 4. 農作業事故の要因と対策 (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  14:25～15:25 5. 農業機械等の安全な使い方 (講師：農研機構農業機械研究部門 安全検査部 主任研究員 志藤博克)  15:35～16:25 6. 農作業事故を防ぐためには (講師：農研機構農業機械研究部門 予防安全システムグループ長 積 栄、 同 グループ長補佐 紺屋朋子)  16:25～16:40 総合質疑  16:40～ 閉講式	農作業事故調査の意義と方法及び様態別にみる事故事例・要因・対策  農業機械等の安全な使い方他  農業機械の安全装備、作業環境と安全管理体制の改善、農作業安全への取組事例  全体を通しての質疑応答

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

## 令和7年度 農作業安全推進研修

### 安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コース（オンライン）Ⅰ

令和7年6月20日（金）

（定員：20名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業安全に関する指導者など、地域における農作業安全の推進を担う者を対象として、参加者同士が意見交換する形式で実施する対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得する。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
6 / 20  (金)	午前	9:30～ 9:45 開講式・オリエンテーション  9:50～11:20 対話型研修について（実施手法など） （講師：農研機構 農業機械研究部門 システム 安全工学研究領域 予防安全システムグループ グループ長 積 栄、 グループ長補佐 紺屋朋子）  11:30～12:00 対話型研修に係る受講体験の注意点 （講師：同 上）	対話型研修の概要並びに事前準備、研修 当日及び研修後における研修担当者の役割 を習得         設定を確認するなど、受講体験の準備
	午後	13:15～15:15 対話型研修の受講体験 （講師：同 上）  15:25～16:25 対話型研修の実施のポイント （講師：同 上）  16:30～ 閉講式	仮説のテーマにより、対話型研修を受講 生の立場から体験       受講体験を踏まえ、対話型研修の実施の ポイントを習得

- 注： 1 オンラインはWebex を使用して実施します。  
 2 事前に接続テストを実施します。

## 令和7年度 農作業安全推進研修

### 安全指導者スキルアップ研修 対話型研修実施手法習得コース（オンライン）Ⅱ

令和7年12月12日（金）

（定員：20名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業安全に関する指導者など、地域における農作業安全の推進を担う者を対象として、参加者同士が意見交換する形式で実施する対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得する。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
12 / 12 （金）	午前	9:30～ 9:45 開講式・オリエンテーション  9:50～11:20 対話型研修について（実施手法など） （講師：農研機構 農業機械研究部門 システム 安全工学研究領域 予防安全システムグループ グループ長 積 栄、 グループ長補佐 紺屋朋子）  11:30～12:00 対話型研修に係る受講体験の注意点 （講師：同 上）	対話型研修の概要並びに事前準備、研修 当日及び研修後における研修担当者の役割 を習得         設定を確認するなど、受講体験の準備
	午後	13:15～15:15 対話型研修の受講体験 （講師：同 上）  15:25～16:25 対話型研修の実施のポイント （講師：同 上）  16:30～ 閉講式	仮説のテーマにより、対話型研修を受講 生の立場から体験       受講体験を踏まえ、対話型研修の実施の ポイントを習得

- 注： 1 オンラインはWebexを使用して実施します。  
 2 事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械整備技術・初級コース I

令和7年5月12日（月）～5月14日（水）

（定員：8名）

（研修のねらい）

本研修は、主要な農業機械の構造・機能と日常的なメンテナンス内容について学び、一般的な環境で使用されている農業機械の実態について理解することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
5 / 12 (月)	午後	13:00～ 開講式・オリエンテーション  13:15～16:00 エンジン及びトラクターの構造・機能  (講師：技術研修指導官等)	ジーゼルエンジン及びトラクター等の構造・機能説明	水戸ほ場 第1研修室  機械教室
5 / 13 (火)	午前	9:15～12:00 コンバインの構造・機能  (講師：技術研修指導官等)	自脱型及び普通型コンバインの構造・機能説明	〃
	午後	13:00～16:00 田植機の構造・機能  (講師：技術研修指導官等)  園芸用作業機の構造・機能と実習  (講師：技術研修指導官等)	田植機の構造・機能説明  園芸用作業機の構造・機能説明及びその使用実習	〃  練習ほ場
5 / 14 (水)	午前	9:15～12:00 畑作用作業機の構造・機能と実習  (講師：技術研修指導官等)	プラウ及びロータリ等の畑作用機械の構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場
	午後	13:00～15:35 牧草用機械の構造・機能と実習  (講師：技術研修指導官等)  15:50 ～ 閉講式	モアー、テッダー、ベラー、ラッパ等 の構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場  第3研修室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

令和 7 年度 農作業安全研修  
農業機械整備技術・初級コースⅡ

令和 7 年 5 月 1 4 日（水）～5 月 1 6 日（金）

（定員：8 名）

（研修のねらい）

本研修は、主要な農業機械の構造・機能と日常的なメンテナンス内容について学び、一般的な環境で使用されている農業機械の実態について理解することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
5 / 1 4 (水)	午後	13:00～ 開講式・オリエンテーション  13:15～16:00 エンジン及びトラクターの構造 ・機能 (講師：技術研修指導官等)	ジーゼルエンジン及びトラクター 等の構造・機能説明	水戸ほ場 第 3 研修 室  機械教室
5 / 1 5 (木)	午前	9:15～12:00 コンバインの構造・機能 (講師：技術研修指導官等)	自脱型及び普通型コンバインの構 造・機能説明	〃
	午後	13:00～16:00 田植機の構造・機能 (講師：技術研修指導官等)  園芸用作業機の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)	田植機の構造・機能説明  園芸用作業機の構造・機能説明及び その使用実習	〃  練習ほ場
5 / 1 6 (金)	午前	9:15～12:00 畑作用作業機の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)	プラウ及びロータリ等の畑作用機 械の構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場
	午後	13:00～15:35 牧草用機械の構造・機能と実習 (講師：技術研修指導官等)  15:50 ～ 閉講式	モアー、テッダー、ベラー、ラッ パー等の構造・機能説明及びその使用 実習	練習ほ場  第 1 研修 室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2 名

令和7年度 農作業安全研修  
農業機械整備技術・初級コースⅢ

令和7年12月11日（木）～12月12日（金）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、整備作業の基礎とトラクター及びロータリの点検整備に関する技術を学ぶコースであり、日常的な点検整備を行える技術習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
12/11 (木)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション  13:30～16:00 整備作業の基礎 (講師：技術研修指導官等)	工具の使い方、電気の初歩、テストターの使い方、ボルト・ナットの締め付け、機械要素の規格について	水戸ほ場 第3研修室  機械教室
12/12 (金)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	実機を用いて300時間点検相当の点検整備実習（オイル交換、エレメント交換、冷却水交換、燃料装置の簡易な整備、エンジン電気系統の点検整備、クラッチ、ミッション、タイヤ、ステアリング、灯火装置等の点検整備）	〃
	午後	13:00～14:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
		14:00～16:00 ロータリの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	ロータリの日常的な点検整備（爪、ベアリング、オイルシール、PTOシャフト、耕深制御機構、水平制御機構）	〃
		16:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械整備技術・初級コースⅣ

令和8年3月12日（木）～3月13日（金）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、整備作業の基礎とトラクター及びロータリの点検整備に関する技術を学ぶコースであり、日常的な点検整備を行える技術習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
3 / 12 (木)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～16:00 整備作業の基礎 (講師：技術研修指導官等)	工具の使い方、電気の初歩、テストターの使い方、ボルト・ナットの締め付け、機械要素の規格について	機械教室
3 / 13 (金)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	実機を用いて300時間点検相当の点検整備実習（オイル交換、エレメント交換、冷却水交換、燃料装置の簡易な整備、エンジン電気系統の点検整備、クラッチ、ミッション、タイヤ、ステアリング、灯火装置等の点検整備）	〃
	午後	13:00～14:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
		14:00～16:00 ロータリの点検整備 (講師：技術研修指導官等)	ロータリの日常的な点検整備（爪、ベアリング、オイルシール、PTOシャフト、耕深制御機構、水平制御機構）	〃
		16:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械整備技術・中級コース I

令和7年11月26日(水)～11月28日(金)

(定員：4名)

(研修のねらい)

本研修は、トラクター、刈払機のメンテナンスを中心にテストの使い方や小型汎用エンジンの分解組み立て等を通して機械の構造・機能を理解し、通常の簡易な修理を行える技術習得を目標とする。

(受付場所:水戸ほ場玄関)

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
11 / 26 (水)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～16:00 安全な整備作業 テストの使い方及び実習 (講師：技術研修指導官等)	工具の種類、使用方法と安全な整備 作業方法 テストの使い方、簡易な使用方法 実習	機械教室
11 / 27 (木)	午前	9:15～12:00 トラクターの安全操作に欠かせない整備要点 (講師：技術研修指導官等)	ブレーキ、灯火装置、等安全運転に 欠かせない装置の点検整備実習、排気 ガスの測定実習	〃
	午後	13:00～16:00 トラクターの整備 (講師：技術研修指導官等)	エアーフィルター、燃料フィルタ ー、冷却系統、ノズル、油圧装置、走 行装置の点検と簡易な整備	〃
11 / 28 (金)	午前	9:15～12:00 刈払機の安全操作に欠かせない整備要点及び簡易な整備 (講師：技術研修指導官等)	刈払機の概要、刈刃、ギヤ室等の 整備実習、キャブレターの分解・調整 等の実習	〃
	午後	13:00～14:45 小型エンジンの分解・組み 立て (講師：技術研修指導官等)	汎用小型ガソリンエンジンの分解・ 組み立て実習	〃
		15:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

2 最少実施人数：2名

令和7年度 農作業安全研修  
農業機械整備技術・中級コースⅡ

令和8年2月4日（水）～2月6日（金）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、トラクター、刈払機のメンテナンスを中心にテストの使い方や小型汎用エンジンの分解組み立て等を通して機械の構造・機能を理解し、通常の簡易な修理を行える技術習得を目標とする。

（受付場所:水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
2 / 4 (水)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修室
		13:30～16:00 安全な整備作業 テストの使い方及び実習 (講師：技術研修指導官等)	工具の種類、使用方法と安全な整備 作業方法 テストの使い方、簡易な使用方法 実習	機械教室
2 / 5 (木)	午前	9:15～12:00 トラクターの安全操作に欠かせない整備要点 (講師：技術研修指導官等)	ブレーキ、灯火装置、等安全運転に 欠かせない装置の点検整備実習、排気 ガスの測定実習	〃
	午後	13:00～16:00 トラクターの整備 (講師：技術研修指導官等)	エアフィルター、燃料フィルタ ー、冷却系統、ノズル、油圧装置、走 行装置の点検と簡易な整備	〃
2 / 6 (金)	午前	9:15～12:00 刈払機の安全操作に欠かせない整備要点及び簡易な整備 (講師：技術研修指導官等)	刈払機の概要、刈刃、ギヤー室等の 整備実習、キャブレターの分解・調整 等の実習	〃
	午後	13:00～14:45 小型エンジンの分解・組み 立て (講師：技術研修指導官等)	汎用小型ガソリンエンジンの分解 ・組み立て実習	〃
		15:00～ 閉講式		第3研修 室

注：1 作業着、作業手袋、作業帽を持参してください。

2 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 水田機械技術向上コース

令和7年10月8日（水）～10月9日（木）

（定員：4名）

（研修のねらい）

本研修は、日頃から稲作を行っている農業者や指導者が、水稻の収穫・ロータリ等耕うん操作技術・メンテナンスを実習し、安全な作業を行うために必要な実践的な知識、技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
10/8 (水)	午後	13:15～ 開講式・オリエンテーション  13:30～16:00 コンバインの操作と安全確保（収穫作業）  (講師：技術研修指導官等)	事件事例紹介、安全な操作方法（畦越え、積み込み時の危険体験及び作業時の安全確認）	水戸ほ場 第3研修室  水田ほ場
10/9 (木)	午前	9:15～12:00 耕うん実習（ロータリ耕うん作業）  (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ耕法	練習ほ場
	午後	13:00～15:00 ロータリの点検整備  (講師：技術研修指導官等)  15:10～ 閉講式	ロータリの日常的な点検整備（爪、ベアリング、PTOシャフト、耕深制御機構、水平制御機構）	機械教室  第3研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

## 令和7年度 農作業安全研修

### 農業機械基礎技術コース I (畑作機械)

令和7年6月18日(水)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が、ロータリ耕うんや作業機の操作方法を実習し、安全なほ場作業を行うために必要な基本的な技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
6 / 18 (水)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～12:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業) (講師：技術研修指導官等)	用途、構造、取り扱い上の留意点、安全作業のポイント、ロータリ耕うん方法	水戸ほ場 第3研修室
	午後	13:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式		練習ほ場  第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

## 令和6年度 農作業安全研修

### 農業機械基礎技術コースⅡ（小型耕うん作業機）

令和7年8月28日（木）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が歩行型及び乗用型トラクターによる安全なほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
8 / 28 (木)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:15～10:00 農作業安全（講義） （講師：研修調整官）  10:00～12:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 （講師：技術研修指導官等）	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント  事件事例紹介、安全な操作方法（耕うん作業、トレーラ走行）	水戸ほ場 第3研修室  〃  練習ほ場
	午後	13:00～16:00 小型乗用トラクター作業（ロータリ耕うん実習） （講師：技術研修指導官等）  16:00 ～ 閉講式	用途、構造、取り扱い上の留意点、安全作業のポイント、ロータリ耕うん方法	練習ほ場  第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械基礎技術コースⅢ（乗用型トラクター1）

令和7年9月2日（火）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が乗用型トラクターの基本的な点検や安全な運転方法を実習し、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
9 / 2 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:15～10:00 農作業安全（講義） （講師：研修調整官）  10:00～12:00 トラクターの構造と機能および 作業点検実習 （講師：技術研修指導官等）	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント  トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法	水戸ほ場 第3研修室  "  運転コース
	午後	13:00～14:00 トラクターの基本的な安全運転実習  14:00～16:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 （講師：技術研修指導官等）  16:00 ～ 閉講式	安全な発進、駐車、方向変換の操作手順  10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度（安全装置付）の斜面での横転疑似体験、急坂（15度・20度）を昇降する時の危険性比較	運転コース  傾斜面・路  第3研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

令和7年度 農作業安全研修  
 農業機械基礎技術コースⅣ（総合）

令和8年2月24日（火）～2月25日（水）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等がトラクターの基本的な安全運転・操作技術、初歩的なメンテナンス方法、農作業安全に対する知識等を習得することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
2 / 24 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:00 トラクターの基本的な安全運転実習  10:00～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 (講師:技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向転換の操作手順  10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度（安全装置付）の斜面での横転擬似体験、急坂（15度・20度）を昇降する時の危険性比較	水戸ほ場 第3研修室  運転コース  傾斜面路
	午後	13:00～15:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 (講師:技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法（耕うん作業、トレーラー走行）	練習ほ場
2 / 25 (水)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの仕組みとメンテナンスの初歩 (講師:技術研修指導官等)	乗用型トラクターの簡易な整備方法（実習体験含む）	機械教室
	午後	13:00～14:45 農作業安全のポイント (講師:研修調整官)  15:00～ 閉講式	農作業事故の実態、事故事例と農作業安全対策のポイント	第3研修室  〃

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

## 令和7年度 農作業安全研修

### 農業機械基礎技術コースV（乗用型トラクター2）

令和8年3月4日（水）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業機械の初心者、新規就農者等が、乗用型トラクターの危険体験や危険回避の方法を実習し、安全なほ場作業を行うために必要な基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
3 / 4 (水)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:00 トラクターの基本的な安全運転実習  10:00～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験  (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向転換の操作手順  10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度（安全装置付）の斜面での横転擬似体験、急坂（15度・20度）を昇降する時の危険性比較	水戸ほ場 第3研修室  運転コース  傾斜面・路
	午後	13:00～15:45 乗用型トラクター走行の安全確保（乗用型トラクターでの畦越え、不整地走行、傾斜地走行）  高齢者体験  (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	トラクターと作業機とのミスマッチによる畦越え時の転倒危険性体験と安全確保の方法、不整地走行でのハンドル操作の困難性、ほ場の傾斜地での横方向への急傾斜体験  高齢者体験セット（ゴーグル、おもり、ベルト等により80歳程度の運動能力）の装着によるトラクターの操作	練習ほ場  第3研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 熱中症対策研修

## 熱中症及び作業環境対策コース I

令和7年5月30日（金）

（定員：100名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業中の死亡事故の原因として増えつつある熱中症の予防対策の重要性に対する理解を深めることにより、農作業安全対策の知識向上に資することを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
5 / 30 (金)	午前	10:50～ 開講式・オリエンテーション  11:00～12:00 熱中症の予防と救命のための身体冷却法 (講師：中京大学スポーツ科学部 教授 松本孝朗)	熱中症の4つの病型とその発症メカニズム、予防法、応急処置
	午後	13:10～13:45 農作業における熱中症の発生状況と対策について (講師：農林水産省農産局技術普及課)  13:55～14:25 健康に過ごすための熱中症対策/水分補給について (講師：大塚製薬(株) ニュートラシューティカルズ事業部 ソーシャルヘルス・リレーション部 奥山元博)  14:35～15:35 今年の夏の天候見通し (講師：NPO法人 気象キャスターネットワーク 事務局長 水越祐一)  15:35～ 閉講式	熱中症の発生状況と現状の取組（熱中症アラートと連動しているMAFFアプリの活用等）  健康で過ごすための睡眠・栄養・水分補給について トピックスとして深部体温に着目し解説  気象庁の中・長期予報による今年の夏の天候について解説

（注）1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 熱中症対策研修

## 熱中症及び作業環境対策コースⅡ

令和7年6月24日（火）

（定員：100名）

（研修のねらい）

本研修は、農作業中の死亡事故の原因として増えつつある熱中症の予防対策の重要性に対する理解を深めることにより、農作業安全対策の知識向上に資することを目標とする。

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容
6 / 24 (火)	午前	10:50～ 開講式・オリエンテーション  11:00～12:00 熱中症の予防と救命のための身体冷却法 (講師：中京大学スポーツ科学部 教授 松本孝朗)	熱中症の4つの病型とその発症メカニズム、予防法、応急処置
	午後	13:10～13:45 農作業における熱中症の発生状況と対策について (講師：農林水産省農産局技術普及課)  13:55～14:25 健康に過ごすための熱中症対策/水分補給について (講師：大塚製薬(株) ニュートラシューティカルズ事業部 ソーシャルヘルス・リレーション部 奥山元博)  14:35～15:35 今年の夏の天候見通し (講師：NPO 法人 気象キャスターネットワーク 事務局長 水越祐一)  15:35～ 閉講式	熱中症の発生状況と現状の取組（熱中症アラートと連動しているMAFFアプリの活用等）  健康で過ごすための睡眠・栄養・水分補給について トピックスとして深部体温に着目し解説  気象庁の中・長期予報による今年の夏の天候について解説

（注） 1：オンラインはWebexを使用して実施します。

2：事前に接続テストを実施します。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械安全運転コース I

令和7年5月20日（火）～5月28日（水）【申込期限：4月16日（水）】

（定員：20名）

（研修のねらい）

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクター等での安全運転を行うために必要な基本的な知識、安全操作技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
5/20 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:30～10:30 農作業安全講義 (講師：研修調整官)  10:30～12:00 乗用型トラクター等の運転・整備・運行に係る諸規制の概要 (講師：技術研修指導官等)	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント  乗用型トラクター等の公道走行などで適用される道路交通法、道路運送車両法等の規制と注意点	水戸ほ場 第1研修室  〃  〃
	午後	13:30～14:30 乗用型トラクターの事故と対策 (講師：農林水産省農産局技術普及課)  14:30～16:00 トラクターの構造と機能 (講師：技術研修指導官等)	乗用型トラクター等の事故の発生状況とその効果  トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要	第1研修室  運転コース
5/21 (水)	午前	9:00～12:00 トラクターの仕業点検実習 (講師：技術研修指導官等)	系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法	運転コース
	午後	13:00～16:00 トラクター等の基本的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、進路変更、右左折、方向変換の操作手順	運転コース
5/22 (木)	終日	9:00～16:00 トラクター等の実践的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な交差点通行、信号読み取り、障害物対応、踏切通過の操作手順	運転コース
5/23 (金)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
5/26 (月)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
5/27 (火)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
5/28 (水)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
		16:00～ 閉講式		第1研修室

1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械安全運転コースⅡ

令和7年9月22日(月)～10月1日(水)【申込期限：8月4日(月)】

(定員：20名)

(研修のねらい)

本研修は、地域リーダーの一般農業者(将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む)等が、乗用型トラクター等での安全運転を行うために必要な基本的な知識、安全操作技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
9/22 (月)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:30～10:30 農作業安全講義 (講師：研修調整官)  10:30～12:00 乗用型トラクター等の運転・整備・運行に係る諸規制の概要 (講師：技術研修指導官等)	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント  乗用型トラクター等の公道走行などで適用される道路交通法、道路運送車両法等の規制と注意点	水戸ほ場 第1研修室  〃  〃
	午後	13:30～14:30 乗用型トラクターの事故と対策 (講師：農林水産省農産局技術普及課)  14:30～16:00 トラクターの構造と機能 (講師：技術研修指導官等)	乗用型トラクター等の事故の発生状況とその効果  トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要	第1研修室  運転コース
9/24 (水)	午前	9:00～12:00 トラクターの仕業点検実習 (講師：技術研修指導官等)	系統毎(燃料、潤滑、冷却、走行等)の点検箇所と点検方法	運転コース
	午後	13:00～16:00 トラクター等の基本的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、進路変更、右左折、方向変換の操作手順	運転コース
9/25 (木)	終日	9:00～16:00 トラクター等の実践的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な交差点通行、信号読み取り、障害物対応、踏切通過の操作手順	運転コース
9/26 (金)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
9/29 (月)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
9/30 (火)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
10/1 (水)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
		16:00～ 閉講式		第1研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械安全運転コースⅢ

令和7年10月27日(月)～11月5日(水)【申込期限：9月16日(火)】

(定員：20名)

(研修のねらい)

本研修は、地域リーダーの一般農業者(将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む)等が、乗用型トラクター等での安全運転を行うために必要な基本的な知識、安全操作技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
10/27 (月)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:30～10:30 農作業安全講義 (講師：研修調整官)  10:30～12:00 乗用型トラクター等の運転・整備・運行に係る諸規制の概要 (講師：技術研修指導官等)	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント  乗用型トラクター等の公道走行などで適用される道路交通法、道路運送車両法等の規制と注意点	水戸ほ場 第1研修室  〃  〃
	午後	13:30～14:30 乗用型トラクターの事故と対策 (講師：農林水産省農産局技術普及課)  14:30～16:00 トラクターの構造と機能 (講師：技術研修指導官等)	乗用型トラクター等の事故の発生状況とその効果  トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要	第1研修室  運転コース
10/28 (火)	午前	9:00～12:00 トラクターの作業点検実習 (講師：技術研修指導官等)	系統毎(燃料、潤滑、冷却、走行等)の点検箇所と点検方法	運転コース
	午後	13:00～16:00 トラクター等の基本的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、進路変更、右左折、方向変換の操作手順	運転コース
10/29 (水)	終日	9:00～16:00 トラクター等の実践的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な交差点通行、信号読み取り、障害物対応、踏切通過の操作手順	運転コース
10/30 (木)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
10/31 (金)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
11/4 (火)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
11/5 (水)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	同上	〃  第1研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械安全運転コースⅣ

令和8年1月13日(火)～1月21日(水)【申込期限：12月1日(月)】

(定員：20名)

(研修のねらい)

本研修は、地域リーダーの一般農業者(将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む)等が、乗用型トラクター等での安全運転を行うために必要な基本的な知識、安全操作技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
1 / 13 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:30～10:30 農作業安全講義 (講師：研修調整官)  10:30～12:00 乗用型トラクター等の運転・整備・運行に係る諸規制の概要 (講師：技術研修指導官等)	農作業事故の実態と農作業安全対策のポイント  乗用型トラクター等の公道走行などで適用される道路交通法、道路運送車両法等の規制と注意点	水戸ほ場 第1研修室  〃  〃
	午後	13:30～14:30 乗用型トラクターの事故と対策 (講師：農林水産省農産局技術普及課)  14:30～16:00 トラクターの構造と機能 (講師：技術研修指導官等)	乗用型トラクター等の事故の発生状況とその効果  トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要	第1研修室  運転コース
1 / 14 (水)	午前	9:00～12:00 トラクターの作業点検実習 (講師：技術研修指導官等)	系統毎(燃料、潤滑、冷却、走行等)の点検箇所と点検方法	運転コース
	午後	13:00～16:00 トラクター等の基本的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、進路変更、右左折、方向変換の操作手順	運転コース
1 / 15 (木)	終日	9:00～16:00 トラクター等の実践的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	安全な交差点通行、信号読み取り、障害物対応、踏切通過の操作手順	運転コース
1 / 16 (金)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
1 / 19 (月)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
1 / 20 (火)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)	同上	〃
1 / 21 (水)	終日	9:00～16:00 同上 (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	同上	〃  第1研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術基礎コース I

令和7年4月15日(火)～4月16日(水)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
4 / 15 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:30 トラクターの構造と機能  トラクターの仕業点検実習  10:30～12:00 トラクターの基本的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法  安全な発進、駐車、方向変換の操作手順	水戸ほ場 第3研修室  運転コース  "
	午後	13:00～15:00 トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験  15:00～16:00 農作業安全 (講師：技術研修指導官等)	15度(安全装置付)の斜面での横転擬似体験、急坂の昇降での危険性確認  事故事例紹介と事故防止の具体的な対策	傾斜面路  第3研修室
4 / 16 (水)	午前	9:15～10:45 作業機の着脱  10:45～12:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業) (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法  安全で効率的なロータリ耕法	水戸ほ場 運転コース  練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業) (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	安全で効率的なロータリ耕法	練習ほ場  第3研修室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術基礎コースⅡ

令和7年7月15日(火)～7月16日(水)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
7 / 15 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:30 トラクターの構造と機能  トラクターの仕業点検実習  10:30～12:00 トラクターの基本的な安全運転実習  (講師：技術研修指導官等)	トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法  安全な発進、駐車、方向変換の操作手順	水戸ほ場第3研修室  運転コース  〃
	午後	13:00～15:00 トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験  15:00～16:00 農作業安全  (講師：技術研修指導官等)	15度(安全装置付)の斜面での横転疑似体験、急坂の昇降での危険性確認  事件事例紹介と事故防止の具体的な対策	傾斜面路  第3研修室
7 / 16 (水)	午前	9:15～10:45 作業機の着脱  10:45～12:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業)  (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法  安全で効率的なロータリ耕法	水戸ほ場運転コース  練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業)  (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	安全で効率的なロータリ耕法	練習ほ場  第3研修室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術基礎コースⅢ

令和7年10月14日（火）～10月15日（水）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所:水戸ほ場）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
10 / 14 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:30 トラクターの構造と機能  トラクターの仕業点検実習  10:30～12:00 トラクターの基本的な安全運転実習 (講師：技術研修指導官等)	トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法  安全な発進、駐車、方向変換の操作手順	水戸ほ場 第3研修室  運転コース  "
	午後	13:00～15:00 トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験  15:00～16:00 農作業安全 (講師：技術研修指導官等)	15度(安全装置付)の斜面での横転擬似体験、急坂の昇降での危険性確認  事件事例紹介と事故防止の具体的な対策	傾斜面路  第3研修室
10 / 15 (水)	午前	9:15～10:45 作業機の着脱  10:45～12:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業) (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法  安全で効率的なロータリ耕法	水戸ほ場 運転コース  練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業) (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	安全で効率的なロータリ耕法	練習ほ場  第3研修室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術基礎コースⅣ

令和7年12月9日（火）～12月10日（水）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

（受付場所:水戸ほ場）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
12/9 (火)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:30 トラクターの構造と機能  トラクターの仕業点検実習  10:30～12:00 トラクターの基本的な安全運転実習  (講師：技術研修指導官等)	トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法  安全な発進、駐車、方向変換の操作手順	水戸ほ場第3研修室  運転コース  〃
	午後	13:00～15:00 トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験  15:00～16:00 農作業安全  (講師：技術研修指導官等)	15度(安全装置付)の斜面での横転擬似体験、急坂の昇降での危険性確認  事件事例紹介と事故防止の具体的な対策	傾斜面路  第3研修室
12/10 (水)	午前	9:15～10:45 作業機の着脱  10:45～12:00 耕うん実習（ロータリ耕うん作業）  (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法  安全で効率的なロータリ耕法	水戸ほ場運転コース  練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習（プラウ耕起作業）  (講師：スガノ農機株式会社(予定))  16:00～ 閉講式	プラウの構造・機能説明及びその使用実習	練習ほ場  第3研修室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術基礎コースV

令和8年1月28日(水)～1月29日(木)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な技術の習得を目標とする。

(受付場所:水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
1 / 28 (水)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:20～10:30 トラクターの構造と機能  トラクターの仕業点検実習  10:30～12:00 トラクターの基本的な安全運転実習  (講師：技術研修指導官等)	トラクターの発達と最近の傾向・分類・主要な構造毎の概要 系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法  安全な発進、駐車、方向変換の操作手順	水戸ほ場 第3研修室  運転コース  "
	午後	13:00～15:00 トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験  15:00～16:00 農作業安全  (講師：技術研修指導官等)	15度(安全装置付)の斜面での横転擬似体験、急坂の昇降での危険性確認  事件事例紹介と事故防止の具体的な対策	傾斜面路  第3研修室
1 / 29 (木)	午前	9:15～10:45 作業機の着脱  10:45～12:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業)  (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法  安全で効率的なロータリ耕法	水戸ほ場 運転コース  練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習(ロータリ耕うん作業)  (講師：技術研修指導官等)  16:00～ 閉講式	安全で効率的なロータリ耕法	練習ほ場  第3研修室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術総合コース I

令和7年6月2日（月）～6月4日（水）

（定員：8名）

（研修のねらい）

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な安全操作技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
6 / 2 （月）	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第3研修 室
		9:15～12:00 農作業安全講義・演習 （講師：研修調整官）	農作業事故の実態、事故防止に有効な危険予知訓練（KYT）演習	〃
	午後	13:00～14:20 トラクターの構造と機能講義 （講師：技術研修指導官等） 14:20～15:00 耕うん・整地作業の理論講義 （講師：技術研修指導官等） 15:00～16:00 工具等の取り扱い講義 （講師：技術研修指導官等）	各部（エンジン、電気装置、動力伝達装置等）の構造と機能 耕うん整地作業の意義、作業機の種類と構造、作業方法 基本的な工具の種類と使用目的、安全な使用方法	機械教室 〃 〃
6 / 3 （火）	午前	9:15～12:00 トラクターの仕業点検実習 （講師：技術研修指導官等）	系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法	運転コース
	午後	13:00～16:00 トラクターの基本的な安全運転実習と傾斜路危険体験 （講師：技術研修指導官等）	安全な発進、駐車、方向変換の操作手順、急坂（15度・20度）を昇降する時の危険性比較	運転コース ・傾斜路
6 / 4 （水）	午前	9:15～10:45 作業機の着脱	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法	運転コース
		10:45～12:00 耕うん実習（プラウ耕起及び砕土・整地作業） （講師：技術研修指導官等）	安全で効率的なプラウ耕起及び砕土・整地（パワーハロー等）作業手順	練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習（ロータリ耕うん作業） （講師：技術研修指導官等）  16:00～ 閉講式	安全で効率的なロータリ耕法	〃  第3研修 室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 テキスト「トラクターの機能と基本操作」（日本農業機械化協会、¥2,420）を使用します。

3 作業着、作業手袋を持参してください。

4 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 乗用型トラクター 耕うん技術総合コースⅡ

令和7年6月9日（月）～6月11日（水）

（定員：8名）

（研修のねらい）

本研修は、地域リーダーの一般農業者（将来的にリーダーとなり得る農業後継者等を含む）等が、乗用型トラクターの安全運転、ほ場作業を行うために必要な体系的な知識、基本的な安全操作技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
6/9 (月)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:15～12:00 農作業安全講義・演習 (講師：研修調整官)	農作業事故の実態、事故防止に有効な危険予知訓練（KYT）演習	水戸ほ場第3研修室 "
	午後	13:00～14:20 トラクターの構造と機能講義 (講師：技術研修指導官等) 14:20～15:00 耕うん・整地作業の理論講義 (講師：技術研修指導官等) 15:00～16:00 工具等の取り扱い講義 (講師：技術研修指導官等)	各部（エンジン、電気装置、動力伝達装置等）の構造と機能  耕うん整地作業の意義、作業機の種類と構造、作業方法  基本的な工具の種類と使用目的、安全な使用方法	機械教室 " "
6/10 (火)	午前	9:15～12:00 トラクターの仕業点検実習 (講師：技術研修指導官等)	系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等）の点検箇所と点検方法	運転コース
	午後	13:00～16:00 トラクターの基本的な安全運転実習と傾斜路危険体験 (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向変換の操作手順、急坂（15度・20度）を昇降する時の危険性比較	運転コース・傾斜路
6/11 (水)	午前	9:15～10:45 作業機の着脱  10:45～12:00 耕うん実習（プラウ耕起及び砕土・整地作業） (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ作業機等の着脱方法  安全で効率的なプラウ耕起及び砕土・整地（パワーハロー等）作業手順	運転コース 練習ほ場
	午後	13:00～16:00 耕うん実習（ロータリ耕うん作業） (講師：技術研修指導官等)	安全で効率的なロータリ耕法	"
		16:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 テキスト「トラクターの機能と基本操作」（日本農業機械化協会、¥2,420）を使用します。

3 作業着、作業手袋を持参してください。

4 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 女性農業者支援 農業機械基本操作コース I

令和7年7月25日（金）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業に従事した経験の浅い女性農業者が刈払機と乗用型トラクターのメンテナンスの初歩を学ぶことを通じて、農業機械の構造に関する知識を習得し、農作業安全に対する理解を深めることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
7 / 25 (金)	午前	9:45～ 開講式・オリエンテーション  10:00～12:00 刈払機のメンテナンスの初歩と 安全な操作 (講師：技術研修指導官等)	刈払機の基本構造と女性農業者向 けの操作方法等のポイント	水戸ほ場 第3研修 室  練習ほ場
	午後	13:00～15:00 乗用型トラクターのメンテナン スの初歩 (講師：技術研修指導官等)  15:20～16:00 農業機械に関する質疑応答・意 見交換 (講師：技術研修指導官等) (講師： " )  16:00 ～ 閉講式		乗用型トラクターの主要な構造ご との概要及び点検箇所と点検方法の ポイント  農業機械に関しての疑問点や農作 業に関する悩みなど(ディスカッシ ョン形式)  "

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 女性農業者支援 農業機械基本操作コースⅡ

令和7年10月17日（金）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業に従事した経験の浅い女性農業者が乗用型トラクターの基本運転及び耕うんの基本を学ぶことを通じて、農作業安全に対する理解を深めることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
10 / 17 (金)	午前	9:45～ 開講式・オリエンテーション  10:05～12:00 トラクターの基本的な安全運転 実習  (講師：技術研修指導官等)	安全な発進、駐車、方向変換の操作 手順	水戸ほ場 第3研修 室  運転コー ス
	午後	13:00～15:00 耕うん実習（ロータリ耕うん作 業）  (講師：技術研修指導官)  15:20～16:00 農業機械に関する質疑応答・意 見交換  (講師：技術研修指導官等) (講師：技術研修指導官等)  16:00 ～ 閉講式	安全で効率的なロータリ耕法   農業機械に関する疑問点や農作 業に関する悩みなど(ディスカッシ ョン形式)	練習ほ場   第3研修 室  〃

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：3名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 女性農業者支援 農業機械基本操作コースⅢ

令和7年11月18日（火）

（定員：6名）

（研修のねらい）

本研修は、農業に従事した経験の浅い女性農業者が乗用型トラクター及び歩行型トラクターの安全操作を行うために必要な知識・技術の習得を通じて、農作業安全に対する理解を深めることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
11 / 18 (火)	午前	9:45～ 開講式・オリエンテーション  10:05～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 (講師：技術研修指導官等)	10度、15度（安全装置付）の斜面でサイズ・速度の危険性比較、横転疑似体験、急坂の昇降での危険性確認	水戸ほ場 第3研修室  傾斜面・路
	午後	13:00～15:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)  15:15～16:00 農業機械に関する質疑応答・意見交換 (講師：技術研修指導官等) (講師：技術研修指導官等)  16:00 ～ 閉講式	事件事例紹介、安全な操作方法（耕うん作業、トレーラ走行）  農業機械に関する疑問点や農作業に関する悩みなど(ディスカッション形式)	練習ほ場  第3研修室  〃

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械基本操作コース I

令和7年4月18日（金）

（定員：55名）

（研修のねらい）

本研修は、海外の研修生が安全にほ場作業を行うために必要な農作業の安全確保に関する知識を習得することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
4 / 18 (金)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第1研修室
		9:15～10:15 農作業安全のポイント (講師：研修調整官)	農作業事故の実態と農作業安全 対策のポイント	〃
		10:30～12:00 刈払機の操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	刈払機の安全な操作方法等	練習ほ場
	午後	13:00～14:30 トラクターの基本運転 (講師：技術研修指導官等)	乗用型トラクターの安全な発 進、駐車、方向転換等の操作手順	運転コー ス
		14:30～16:00 農業機械・施設見学 (講師：技術研修指導官等 ほか水戸ほ場職員)	水戸ほ場にある農業機械・施設 の見学	各施設
		16:00～ 閉講式		第1研修 室

注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 3班に分けて実習を行う。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械基本操作コースⅡ

令和7年8月21日（木）～8月22日（金）

（定員：30名）

（研修のねらい）

本研修は、海外の研修生が安全にほ場作業を行うために必要な農作業の安全確保に関する知識を習得することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
8/21 (木)	午前	9:00～ 開講式・オリエンテーション  9:15～12:00 ホイールローダーの運転操作 (講師：技術研修指導官等)	ホイールローダーの基本的かつ安全な運転操作	水戸ほ場 第1研修室  運転コース
	午後	13:15～16:00 トラクター耕うん作業 (講師：技術研修指導官等)	トラクターと作業機を使用した安全な耕うん作業	練習ほ場
8/22 (金)	午前	9:00～11:45 小型油圧ショベルとフォークリフトの基本操作 (講師：技術研修指導官等)	小型油圧ショベルとフォークリフトの基本的かつ安全な操作方法	練習ほ場
		11:55～閉講式		第1研修室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。  
 2 作業着、作業手袋を持参してください。  
 3 2班に分けて実習を行う。

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械基本操作コースⅢ

令和7年8月22日（金）、25日（月）

（定員：25名）

（研修のねらい）

本研修は、海外の研修生が安全にほ場作業を行うために必要な農作業の安全確保に関する知識を習得することを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
8 / 22 (金)	午後	13:00～ 開講式・オリエンテーション  13:15～16:00 ホイールローダーの運転操作 (講師：技術研修指導官等)	ホイールローダーの基本的かつ安全な運転操作	水戸ほ場 第1研修室  運転コース
8 / 25 (月)	午前	9:15～12:00 トラクター耕うん作業 (講師：技術研修指導官等)	トラクターと作業機を使用した安全な耕うん作業	練習ほ場
	午後	13:00～15:45 小型油圧ショベルとフォークリフトの基本操作 (講師：技術研修指導官等)  15:55～閉講式	小型油圧ショベルとフォークリフトの基本的かつ安全な操作方法	練習ほ場  第1研修室

- 注： 1 天候等により日程が変更になることがあります。  
 2 作業着、作業手袋を持参してください。  
 3 2班に分けて実習を行う。

令和7年度 農作業安全研修

農業機械基本操作コースⅣ

令和8年2月17日（火）

（定員：8名）

（研修のねらい）

本研修は、安全にほ場作業を行うために必要なチェーンソー及び歩行用トラクターの基本操作技術の習得を目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
2 / 17 (火)	午前	10:00～ 開講式・オリエンテーション  10:15～12:00 チェーンソーの基本操作 (講師：技術研修指導官等)	安全な操作方法（伐採、目立て、作業方法及び乗用管理機の操作方法等）	水戸ほ場 第1研修室
	午後	13:00～15:00 歩行型トラクターの操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)  15:00～ 閉講式		練習ほ場   水戸ほ場 第1研修室

- 注：1 天候等により日程が変更になることがあります。  
2 作業着、作業手袋を持参してください。  
3 最少実施人数：3名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械実践技術コース I

令和7年10月22日(水)～10月24日(金)

(定員：8名)

(研修のねらい)

本研修は、日頃から農業機械操作を行っている地域リーダーの一般農業者等が、多様な機械の安全操作を実習し、安全なほ場作業を行うために必要な実践的な知識、技術の習得を目標とする。

(受付場所:水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
10/22 (水)	午後	13:25～ 開講式・オリエンテーション  13:45～16:00 乗用型トラクターの仕業点検 及び安全操作 (講師：技術研修指導官等)	系統毎（燃料、潤滑、冷却、走行等） の点検箇所と点検方法 片ブレーキ（連結忘れ）による急旋回 等の事故防止の具体的な対策	水戸ほ場 第3研修室  運転コース
10/23 (木)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾 斜路危険体験 (講師：技術研修指導官等)	10度の斜面をサイズ・速度の異なる トラクターで走行した場合の危険性比 較と安全確保の方法、15度（安全装置 付）の斜面での横転擬似体験、急坂（1 5度・20度）を昇降する時の危険性比 較	傾斜面・路
	午後	13:00～16:00 小型作業機械の操作と安全確 保 (チェーンソー、歩行型トラクター 等) (講師：技術研修指導官等)	事故例紹介、安全な操作方法（伐採・目 立て、耕うん作業トレーラ走行）	練習ほ場
10/24 (金)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクター走行の安全 確保 (乗用型トラクターでの畦越え、 不整地走行、傾斜地走行) (講師：技術研修指導官等)	トラクターと作業機との mismatch による畦越え時の転倒危険性体験と安 全確保の方法、不整地走行でのハンド ル操作の困難性、ほ場の傾斜地での横方 向への急傾斜体験	練習ほ場
	午後	13:00～14:30 コンバインの操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	事件事例紹介、安全な操作方法（畦越え、 積み込み時の危険体験及び収穫作業時 の安全確認）  安全な操作方法及び簡易な整備等	練習ほ場
		14:30～16:00 刈払機の操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)		練習ほ場
16:00～	閉講式		第3研修室	

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名

# 令和7年度 農作業安全研修

## 農業機械実践技術コースⅡ

令和8年12月16日(火)～12月18日(木)

(定員：8名)

(研修のねらい)

本研修は、日頃から農業機械操作を行っている地域リーダーの一般農業者等が、多様な機械の安全操作を実習し、安全なほ場作業を行うために必要な実践的な知識、技術の習得を目標とする。

(受付場所:水戸ほ場玄関)

月日	区分	研修項目等	主な内容	場所
12/16 (火)	午後	13:25～ 開講式・オリエンテーション  13:45～16:00 乗用型トラクターの仕業点検 及び安全操作 (講師：技術研修指導官等)	系統毎(燃料、潤滑、冷却、走行等)の点検箇所と点検方法 片ブレーキ(連結忘れ)による急旋回等の事故防止の具体的な対策	水戸ほ場 第3研修室  運転コース
12/17 (水)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験 (講師：技術研修指導官等)	10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度(安全装置付)の斜面での横転疑似体験、急坂(15度・20度)を昇降する時の危険性比較	傾斜面・路
	午後	13:00～16:00 小型作業機械の操作と安全確保 (チェーンソー、歩行型トラクター) (講師：技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法(伐採・目立て、耕うん作業、トレーラ走行)	練習ほ場
12/18 (木)	午前	9:15～12:00 乗用型トラクター走行の安全確保 (乗用型トラクターでの畦越え、不整地走行、傾斜地走行) (講師：技術研修指導官等)	トラクターと作業機とのミスマッチによる畦越え時の転倒危険性体験と安全確保の方法、不整地走行でのハンドル操作の困難性、ほ場の傾斜地での横方向への急傾斜体験	練習ほ場
	午後	13:00～14:30 コンバインの操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	事故事例紹介、安全な操作方法(畦越え、積み込み時の危険体験及び収穫作業時の安全確認)	練習ほ場
		14:30～16:00 刈払機の操作と安全確保 (講師：技術研修指導官等)	安全な操作方法及び簡易な整備等	練習ほ場
		16:00～ 閉講式		第3研修室

注：1 天候等により日程が変更になることがあります。

2 作業着、作業手袋を持参してください。

3 最少実施人数：2名